

第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

報告書資料 支援-21

学校名・団体名	福島市立庭坂小学校
HPアドレス	http://www.fukushima.gr.fks.ed.jp/?page_id=447
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	梨とお米の秋パーティー
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>総合的な学習の時間に、地域の産業である果樹栽培や米作りを素材とした学習に取り組んでいる。しかし、原発事故後の風評被害等により、食への不安が払拭し切れていない。そこで、1・2年生の生活科の秋パーティーと3～6年生の総合的な学習の発表に合わせ、お世話になった方々や避難して復興住宅に入っている方々、保護者や地域の方を招待しての「全校秋パーティー」を行い、各学年の果樹栽培や米作りについての発表や梨を使ったクレープを会食し、感謝の心を伝え、親交、交流を深めるとともに、食の安全への認識を高める。</p>	

梨とお米の全校秋パーティー 11月27日(日)

1 参加者 全校児童 290名, 保護者, 地域の方々, 復興住宅の方々 計470名

2 教科等 日曜参観日(生活科, 総合的な学習の時間)

3 内容

(1) 秋パーティーまでの活動

- 1・2年生は「お世話になった方々をパーティーに招待して楽しんでもらおう。」とアイデアを出し合い計画を立てた。また, 3年生以上は, 総合的な学習の時間の学習成果を発表, 交流する機会として全校秋パーティーを位置付け, 発表の準備を進めた。
- 地域の特産品である「梨」の安全への取り組みの理解と利用拡大を図るため(風評被害払拭のため)1学期に全校生で「梨を使ったクレープのレシピコンテスト」を実施し, 約200作品の応募の中から, 児童投票により特選を1品選定した。

4月~ 3年生 梨の栽培と, 学習を進めた。

芳賀果樹園における観察や実習等。選果場見学

5月~ 5年生 バケツ稲栽培, 米粉の料理

JAによる指導を受け, 田植えから米の収穫, 料理を学ぶ。

5月~ 1・2年生 町探検等地域の方々との交流, 地域の保育園との交流

5月~8月 庭坂小・梨のレシピコンテスト

(2) 梨とお米の全校秋パーティー

- ① 1・2年生による, 地域の方への感謝の会と, 発表会やゲームによる交流。



- ② 3年生以上による総合的な学習の時間の学習内容の発表。

3年「梨作りの工夫」, 4年「環境を守る工夫」5年「米作りの苦労や工夫, 伝統行事との関わり」, 6年「夢に向かって」と, それぞれのテーマでポスターなどを作って発表した。



③ 音楽鑑賞会 西聡子様
鍵盤ハーモニカやピアノ

ノで、ジブリメドレーや
子供たちのリクエストの
曲をたくさん聞かせてい
ただいたり、参加者全員で「ひまわりの約束」「手のひらを太陽に」を西さんの伴奏で合唱した。



また、皆さんがつくってくださったという「ドングリ袴の根付け」を児童全員にプレゼントしてもらった。

④ 梨を使ったクレープでの会食

1学期に行ったレシピコンテストで1位になった5年児童の「梨と生クリームのカレー」、地域の韓国料理店いやしカフェ製の梨キムチを使った「梨キムチクレープ」そして青山のフレンチレストラン ラ・ブランシュのオーナーシェフ田代様考案の「エゴマ味噌とフレンチトーストのカレー」の3種類を参加者全員で作ったり会食したりしながら、交流を深めた。



4 成果

学年間の交流を深めることができ、下学年は将来の学習への見通しを持つことができ、上学年は以前の学習を振り返ったり下級生にアドバイスをしたりすることができた。



地域の方々や保護者の方々に学習の成果を発表、発信することができた。子供たちの学習の深さに、地域の方々からも「こんなすごいことを勉強しているのか」といった感想をいただいた。また、復興住宅の方々を招待して参加して頂き、地域や保護者、児童との交流を深め、庭坂の良さを知ってもらうことができた。この秋パーティーは、地方紙(福島民報)や業界紙(日本農業新聞)でも大きく取り上げられ、風評被害払拭、食の安全への理解を深める一助ともなった。